



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4326 号 2018.4.18 発行

### 大阪府、福祉関連情報発信・コミュ支援拠点 第2四半期に本体工事を発注



日刊建産速報 2018年4月18日  
 大阪府は、耐震基準を満たしていない「障がい者社会参加促進センター」、「盲人福祉センター」、「谷町福祉センター」を森之宮地区内の府有地に移転集約し、新たに『福祉関連情報発信・コミュニケーション支援拠点（仮称）』を整備するため、今年度第2四半期に本体工事（工期15か月）を発注する。現在は徳岡設計・E&SエンジニアリングJVに基本・実施設計を委託し作業を進めており、18年9月に完了する予定。

現在の3センターは、第4次大阪府障がい者計画上、施策の推進拠点として位置付けられているが、いずれも現行の建築基準法と同等の耐震基準（I s 値0.6以上）を満たしておらず、「府有建築物耐震化実施方針」に基づき、15年度末までに耐震改修が必要であったが、期限が経過した現在においても対応ができていない

状況にある。特に盲人福祉センターは構造上エレベーターやスロープを設置できないなど「バリアフリー化」の課題もある。また、各センターは築39～55年を経過し、老朽化が深刻化している。

現在の3センターは▽障がい者社会参加促進センター（61年12月竣工で築55年）＝大阪市天王寺区生玉前町5-33の敷地面積704.49㎡、RC造延1136.24㎡（I s 値0.54）▽盲人福祉センター（62年6月竣工で築54年）＝大阪市天王寺区生玉前町5-25の敷地面積815.36㎡、RC造延1208.44㎡（I s 値0.39）▽谷町福祉センター（77年4月竣工で築39年）＝大阪府中央区谷町5-4-13の敷地面積640.40㎡、RC造延2295.31㎡（I s 値0.38）。

これらの諸課題に早期に対応する必要があるため、3センターをアクセスに優れた森之宮地区内の元府警察森之宮単身寮の府有地に移転集約して、新たに『福祉関連情報発信・コミュニケーション支援拠点（仮称）』を整備する。建設予定地は元警察本部森之宮単身寮敷地の2371.13㎡で、現在の3センターの延床面積合計規模をベースとして、SRC又はRC造延3830㎡の規模で整備する。全体事業費（工事費のみ）約14～19億円（新築工事費約13.8～18.5億円、撤去費約2～5000万円）。

気仙沼から弘前の介護施設に入所の女性、帰郷を願う 河北新報 2018年4月18日

約60年暮らした宮城県気仙沼市から約270キロ離れた青森県弘前市の福祉施設で、入所者の女性(86)が帰郷を願っている。東日本大震災の津波で気仙沼の自宅を失い、脳梗塞による後遺症がある。地元の介護保険施設に入所できず、弘前に来て2年が経過した。「いつかは戻りたい」。その日を心待ちにしている。

「今度の外出イベントでまたおすしを食べに行きたい」。介護老人保健施設サンタハウス弘前のフロアに女性の笑い声が響いた。

女性は2016年1月から暮らす。他の入所者と談笑したり、テ



レビドラマを見たり。リハビリは順調で、まひの残る右手足はだいぶ良くなったという。

一関市出身で、結婚を機に24歳で気仙沼市に移り住んだ。夫は15年以上前に他界し、長女も震災前に白血病で帰らぬ人になった。

サンタハウス弘前で宮本さん(右)と談笑する女性

震災当日、気仙沼市の自宅を兼ねた洋服店で仕事をしていた。地響きとともに建物が大きく傾き、一心不乱に車を走らせて逃げた。約60年営んだ店

舗兼住宅は津波で流された。

長男(59)夫婦は震災当時、市内にいたが「息子の世話になるのは気が引けて」1人で仮設住宅に移り住んだ。

15年10月に脳梗塞を患い、退院後の入居先を探した。介護を受けながら生活できる気仙沼市内の施設に空きはない。受け入れてくれたのがサンタハウス弘前だった。

サンタハウス弘前は震災直後の11年4月に被災した高齢者の受け入れを開始。宮城、岩手、福島の3県から延べ160人の要介護者らを迎え入れた。

主な被災自治体の介護保険施設の数は表の通り。3県で震災後に増えたが、被害の大きかった沿岸自治体では震災前後で施設数が同じか、減った所もあった。

サンタハウス弘前の広域支援相談員宮本航大さん(39)は延べ500人以上の相談を受けた。被災地からの受け入れ相談は年々増えており、宮本さんは「内陸部に働き手が移住するなど人手不足もあり、被災地を取り巻く医療福祉の現状はなお厳しい」と指摘する。

気仙沼市内の介護保険施設は今も入所待ちが続く。女性は「ここでの生活は楽しいけれど、地元が一番。60年もいた街だもの」とつぶやく。

被災自治体の介護保険施設の数

自治体	2010年 10月1日	2016年 10月1日
宮城県	196	298
岩手県	179	249
福島県	209	281
気仙沼市	※10	10
大船渡市	5	8
山田町	2	2
南相馬市	10	8
相馬市	3	3

〔注〕※は2011年3月時点。南相馬市は今年4月1日時点で10

## 障害者 輝ける社会に 岩渕氏 憲法の理念実現 主張 しんぶん赤旗 2018年4月18日 質問する岩渕友議員=11日、参院国民生活・経済調査会



参院国民生活・経済調査会は11日、ユニバーサルサービスへの取り組みについて参考人質疑を行いました。

日本共産党の岩渕友議員は、障害者が安心して暮らし、輝いて生きていくことができる社会づくりのため、憲法25条、13条など、憲法や障害者権利条約の理念を広げることが必要だと主張しました。

岩渕氏は、日本も批准している障害者権利条約27条(労働及び雇用についての権利実現の保障)、28条(相当な生活水準及び社会的な保障)を紹介し、その実現に重要な所得の引き上げについて質問。「滋賀県手をつなぐ育成会」の崎山美智子理事長は「障害基礎年金を上積みし、生活保護世帯と同じくらいに引き上げてほしい」「今の障害基礎年金は何十年前の制度。生活水準自体も引き上がってきた。引き

上げが最低限の生活を保障することになる」と述べました。

岩淵氏は、視覚障害者が駅のホームから転落する事故が後をたたないことをあげ、再発防止策であるホームドア設置に関わって、国がやるべき対策を質問。筑波大学付属視覚特別支援学校教諭の宇野和博氏は「事業者任せだけではお金を持っている事業者かどうかで格差ができてしまう」「もっと集中的に予算をつぎ込んで、整備していくことが必要」と話しました。

## 農福連携推進センター 農業への障害者就労支援 県庁に設置 /山梨

毎日新聞 2018年4月18日

県は今月、農業の分野で働く障害者を支援する「農福連携推進センター」を県庁に設置した。障害者が働く場所を確保すると同時に、農業の担い手不足を解消する狙いがある。県によると、同種のセンターは、京都府に続いて全国で2番目の設置となる。【加古ななみ】センターは障害福祉課に置き、県職員4人が対応する。農業と福祉のマッチングが主な業務で、担い手がほしい農家や、障害者に働く場を提供している障害者就労支援施設に対して相談や助言を行う。障害者を雇用して農業に参入することを目指す法人などへの情報提供も実施する。

県内の働くことが可能な障害者は約4000人いるとみられる。ただ、それぞれに適した職場が見つげにくい現状があり、県は2016年度から2年間、県内の障害者就労支援施設10カ所と農家を結びつけるモデル事業をNPO法人に委託した。

農作業は体を使うため、農家からは「危険ではないか」との懸念も寄せられていたが、能力を発揮できる仕事があり、延べ約7000人の障害者を派遣した。さらに実績を上げるため、新たにセンターを設けたという。

同課は「マッチングの機会はまだ少なく、支援を充実させたい」としている。問い合わせはセンター（055・223・1361）。

## 平均寿命1位、男性は横浜・青葉区…最下位は男女とも大阪・西成区

### 市区町村別の平均寿命

	順位	男性	(歳)	女性	(歳)
上位5位	1	横浜市青葉区	83.3	沖縄県北中城村	89.0
	2	川崎市麻生区	83.1	沖縄県中城村	88.8
	3	東京都世田谷区	82.8	沖縄県名護市	88.8
	4	横浜市都筑区	82.7	川崎市麻生区	88.6
	5	滋賀県草津市	82.6	石川県野々市市	88.6

下位5位	1	大阪市西成区	73.5	大阪市西成区	84.4
	2	大阪市浪速区	77.5	北海道稚内市	85.1
	3	青森県平内町	77.6	福島県西郷村	85.2
	4	青森県むつ市	78.1	青森県蓬田村	85.2
	5	青森県中泊町	78.1	岩手県釜石市	85.3
全国平均		80.8		87.0	

（厚労省調べ。小数点第2位を四捨五入）

読売新聞 2018年4月18日

厚生労働省は17日、2015年時点の市区町村別の平均寿命を発表した。1位は男性が横浜市青葉区（83・3歳）、女性は沖縄県北中城村（89・0歳）だった。青葉区は前回調査（10年時点）の8位から順位を上げ、北中城村は3回連続の1位。最下位は男女とも大阪市西成区（男性73・5歳、女性84・4歳）だった。

厚労省は5年に1回、国勢調査などから市区町村別の平均

寿命を推計しており、今回で4回目。東京電力福島第一原発事故で避難指示区域に指定されるなどした福島県の8町村を除く、1888市区町村を対象にした。

男性の全国平均は80・8歳、女性は87・0歳だった。男性では上位5位に神奈川県3自治体が入り、女性では沖縄県が目立った。男性のワースト1位だった大阪市西成区と同2位の同市浪速区の差は4歳と大差がついた。

厚労省は「食生活などが影響している可能性があるが、明確な要因は分からない」としている。男性でトップだった横浜市青葉区の担当者は「区民への調査では、日常的に歩いたり、野菜を食べたりする人が多かった。健康に対する意識の高さが関係しているのではないか。引き続き健康作りに力を入れたい」と話した。

## 弘前の中核病院 検討委を中止 桜田市長「廃止含めて」 /青森

毎日新聞 2018年4月18日

弘前市は17日、国立病院機構弘前病院と市立病院の統合による中核病院構想をめぐり、22日に予定していた第3回地域包括ケア検討委員会を中止すると発表した。市は会議の進め方を再検討するためとしており、今後の開催は未定という。

検討委は、中核病院を中心に住民が地域で安心して暮らせる医療・福祉環境を市が主体となって整備するため、今年2月に設置。学識経験者や医療福祉関係者らで構成し、議論が行われてきた。葛西憲之前市長は市が主体となることにこだわってきたが、8日投開票の市長選で初当選した桜田宏市長は、国立病院機構を主体とする整備・運営を打ち出している。市の担当者は「市長の方向性が全く逆なので、従来と同じ議論を継続するのは難しい」と説明。桜田市長は報道陣に対し、「私の方針は委員に伝えているので、廃止も含めて今後どうするかを検討していく」と話した。【藤田晴雄】

## 企業主導型保育所 人材確保、女性活用へ高い関心

産経新聞 2018年4月18日



女性活用に役立つと企業主導型保育所の開設が相次いでいる＝東京都武蔵野市のりとるういず吉祥寺保育園

企業が従業員向けに開設する「企業主導型保育所」。認可施設並みの助成が受けられるため、人手不足解消や女性活用に役立つようと、企業の関心が高まっている。この春、全国で相次いで開園しているが、待機児童問題の解消に役立つかは課題も残されているようだ。(油原聡子)

今月1日、JR吉祥寺駅から徒歩5分の場所に、企業主導型保育所「りとるういず吉祥寺保育園」(東京都武蔵野市)がオープンした。運営するのは、関東で保育事業を展開する「ウィズ」(埼玉県川口市)だ。所有ビルの活用を考えていた富国生命(東京都千代田区)が、武蔵野市に相談し保育園を誘致。開園に至った。ウィズの従業員向けだが、富国生命を含め、数社の提携企業の従業員も利用できるという。

富国生命吉祥寺営業所に勤務する女性(28)は毎日、長男(1)を預けてから、園の目の前の営業所に出勤する。

「出産を機に仕事を辞めたので保育園への入所が難しかった。保育園との提携があったことで再就職できました。すぐ駆けつけられる距離に園があるのは便利です」

就職のきっかけにも

企業主導型保育所は、人材確保や福利厚生に役立つようと企業の申し込みが殺到している。内閣府によると、今年2月末までに助成が決定したのは、2365施設、定員5万4645人分のぼる。

特に女性社員が多い企業に人気で、日本生命(千代田区)は、ニチイ学館と共同で、昨年4月から企業主導型保育所を全国に展開。全都道府県に100カ所、定員1800人分の整備を目指している。

日本生命の担当者は「子供を預けて働きたい女性の後押しになるだけでなく、独身や子供のいない従業員にとっても、働き続けられるという安心感につながるのではないかと

話す。

企業主導型保育所は、地域の子供を受け入れることも可能なため、待機児童問題解消の切り札として政府の期待も高い。しかし、あくまで企業の福利厚生施設なので待機児童問題が深刻でない地域に開設されることも多く、ミスマッチが指摘されている。実際、ある企業の担当者は「待機児童が深刻な地域は賃料も高く、用地が見つからない」と打ち明ける。

日本生命とニチイ学館による企業主導型保育所でも、ほとんどで「地域枠」を設けているが、待機児童問題が深刻な首都圏での開設は昨年度、神奈川県平塚市の1カ所のみ。今年度は首都圏で11カ所を整備する予定だという。

自治体と連携を

待機児童解消のため、企業主導型保育所の支援に積極的に乗り出す自治体も出てきた。東京都は、保育士の処遇改善のための補助金制度の対象に、企業主導型保育所も加えている。

保育政策に詳しい、「日本総合研究所」（品川区）の主任研究員、池本美香さんは「預け先の選択肢が増えるのはいいが、保護者がまだ預けたくないと思っているのに復職を断れない、残業が断れない、といった状況にならないように配慮する必要がある。働き方改革も同時に進めるべきだ」と指摘。「今後はいかに、待機児童問題が深刻な地域に造っていくかが課題。企業と自治体でもっと情報共有を進めるべきだ」と話している。

**【用語解説】企業主導型保育所** 企業が主に従業員向けに整備する保育施設で、平成28年度に制度創設。保育士の有資格者は半数以上いればよく、認可施設よりも緩いが、運営費や施設整備費について認可並みの助成が受けられるため、保育料を安く抑えることが可能。働き方に応じて、延長や夜間、土日なども保育サービスを提供できる。児童育成協会が制度の運営を委託されており、原則として年に1回以上立ち入り調査を実施。協会のホームページ上で結果を公表している。

## 遺言書はどこに…「終活情報」市に登録、横須賀で開始 朝日新聞 2018年4月18日

神奈川県横須賀市は17日、延命治療に関する希望や、遺言書をしまった場所、お墓の場所などを市民が登録できる事業を始めると発表した。本人が指定した人や、病院や福祉事務所などの行政機関にも必要に応じて情報を伝える。

「終活情報登録伝達事業」と名付け、一人暮らしや身寄りがいない人に限らず、市民であれば誰でも登録でき、利用は無料。5月から受け付けを始める。

登録カードには、かかりつけ医・食品のアレルギー▽延命治療に関する意思を示した書類の保管場所▽エンディングノートの保管場所▽葬儀や遺品整理について、生前に契約を結んでいる場合は業者名▽遺言書の保管場所▽お墓の所在地——など10項目の記入欄がある。市民は希望する項目だけ記載する。誰からの問い合わせなら、市が答えていいかも併せて登録しておく。

主に病気や事故で自分の意思を伝えられなくなったり、認知症になったりした場合に備える。例えば、家族と疎遠になっている市民の場合、友人らを指定しておくこともできる。

ただ、お墓の場所については、墓参りを望む人からの問い

合わせにはすべて応じる。

上地克明市長は「自分の意思が伝わらずに亡くなるのは、非常に寂しいこと。少しでも伝えるお手伝いをしたい」と話した。（山田史比古）



## 漫画とコラボし疾患啓発

産経新聞 2018年4月18日

厚生労働省は、成人T細胞白血病や、希少な脊髄難病の原因になるウイルス「HTLV-1」の認知度を高めるため、人気漫画「はたらく細胞」のキャラクターが登場するポスターとリーフレットを全国の自治体や保健所に配布する。このウイルスは主に母乳や性交渉を通じリンパ球の一種ヘルパーT細胞に感染する。国内の感染者は80万人を超すと推定されるが、発症率が低いため医療者の認知度も低く、白血病などの診断が遅れることもあるという。ポスター約3200部、リーフレット約13万部を作製。キャラクターが、ウイルスを「正しく知って」と呼び掛けている。

## シングル父45歳、非正規ゆえの壮絶3人子育て 月収17万円、「子供に我慢ばかりさせてきた」 藤田 和恵：ジャーナリスト

東洋経済 2018年04月18日

なぜタクヤさんはシングルファーザーになったのだろうか (筆者撮影)

現代の日本は、非正規雇用の拡大により、所得格差が急速に広がっている。そこにあるのは、いったん貧困のワナに陥ると抜け出すことが困難な「貧困強制社会」である。本連載では「ボクらの貧困」、つまり男性の貧困の個別ケースにフォーカスしてリポートしてい



く。今回取り上げるのは、「現在の給与では生活保護を受けないと生活できない」と編集部にメールをくれた、3人の子どものシングルファーザーだ。

「学校くらい好きに行っていよいよと言いたかった」大阪府内の公営住宅。子どもたちは壁際にしつらえた3段ベッドで、寝起きしている。普通より奥行きのある造りの押し入れが“勉強部屋”だという。外

で拾ってきたカラーボックスを運び入れ、机代わりにしている。たくましくも見える子どもたちの様子を横目に、シングルファーザーのタクヤさん(45歳、仮名)はこう語る。

「学校くらい、大学でも、専門学校でも。私立でも、公立でも、好きに行っていよいよと言ってあげたかった」

自治体の嘱託職員として障害者福祉にかかわる部門で働いている。月収は約17万円。

父親の思いとは裏腹に、長男は高校卒業後、すぐに働き始めた。『なんで大学行けへんの?』と聞いても、『働く』と言ってききませんでした。

次男は、授業料と昼食代、定期代は自分でアルバイトをして稼ぐからと言って昨春、公立大学に進んだ。それでも足りない分は、入学時に社会福祉協議会などから約80万円を借りた。学校は遠方にあり、実習なども多いため、朝6時に家を出て、帰ってくるのは夕方6時。その後、日付が変わる少し前までレジ打ちのバイトをし、遅い夕食を食べて眠るのは深夜2時ごろだという。そんな生活を1年、続けている。

「18歳の子どもに借金を背負わせたんです。申し訳なくて死にたくなりました。本人は『電車の中で寝てるから大丈夫や』と言うんですが……。大学の友達と遊びに行くところも見たことないです」

今春、高校受験を控えた末っ子には早々に「私立はあかんで」と伝えたという。府立高校



なら入学金や授業料、制服代などを合わせても年間 30 万円ほどですむが、私立高校の場合、入学時だけで約 60 万円、年間だと 100 万円を軽く超えるからだ。

幼い頃から、子どもたちに我慢をさせてきたことは「山ほどある」。一緒に買い物に出かけたときに「おやつ、買ってええで」と言っても、そろって「いらない」と首を横に振るばかり。気を使っているのだと気づいてからは、たとえば飴とチョコレート、せんべいを見せて「どれがええ？」と聞くようにしたが、それでもいちばん安い商品を選んできたという。

あるとき、学校側から部活の遠征費が支払われていないと連絡を受け、「家じゅうをひっかき回しておカネを用意したこともあります」。遠征があるのに、家計が苦しいと思ったのか、親に黙って参加しなかったこともあったようだという。きょうびの連絡網には LINE が使われることが多いのだが、子どもにスマートフォンを持たせる余裕はなく、タクヤさんのところだけは連絡先が自宅の固定電話だった。

子どもたちが公園のビワの実やクコの実を食べているのを見たときは「たくましい子やな」と思うと同時に、我慢させてんねんな、申し訳ないなと思いました」。今年の冬は野菜の値段が軒並み高騰し、生野菜をほとんど食べさせてやれなかったことも気がかりだという。

「子どもたちに申し訳ない」——。取材中、タクヤさんは何度もそう繰り返した。

## 20 年近い結婚生活だったが…

大学では、福祉を専攻。社会福祉士や障害者ガイドヘルパーなどの資格を取り、新卒で社会福祉法人に就職した。正社員で、月収約 19 万円。この頃、もともと面識のあった女性がメンタル面に不調があるというので相談にのったところ、それがきっかけで交際が始まり、結婚した。「話も合い、共通の趣味もありました。(メンタルの問題は)理解し合っているとっていました」。実際に結婚後、しばらくは共働きで、世帯収入は毎月 30 万円ほどあったという。

その後、職場で起きた解雇問題などに反発して退職、障害者作業所に転職した。正職員で、賃金水準もほとんど同じ。人間関係にも恵まれる一方で、利用者の処遇改善などの業務を買って出たことで仕事が増え、帰宅が深夜になることが珍しくなくなった。同じ頃に妻の体調が悪化。家事と保育園の送り迎えなどはすべてタクヤさんが担うようになったという。職場から保育園に子どもたちを迎えに行き、家で夕飯を作り、再び職場に戻る——。こうしたハードワークを数年間続けた結果、心臓病を発症。手術を受けたが、施設や作業所など体力を使う現場への復帰は難しくなった。「上司は『早く帰れ』と心配してくれていました。やりがいのある仕事で、僕がつい頑張りすぎてしまったんです」。

それからはタクヤさんが自治体の非常勤職員などとして働いたが、給与水準はダウン。妻は定職に就くことができず、最低生活費に足りない部分を生活保護で補うようになった。また、妻は仕事中に頻りに携帯に電話をかけてきて不安を訴えるなどしたため、彼が転職を余儀なくされたこともあったという。

「妻の面倒を見ることを苦痛だと感じたことは一度もないんです。不安定なのは病気のせいですし、病気も個性のひとつだと思っていました。(妻は)病院では感情性気分障害と診断されましたが、統合失調症の傾向もあったと思います」とタクヤさん。

しかし、3 年ほど前、妻が浮気をしていることがわかった。悔しい思いもあったが、「子どものことを考えると、これ以上(夫婦生活を)続けることはできない」と判断。親権はタクヤさんが持つことで早々に離婚を決めた。20 年近い結婚生活を「子育ても家事も 1 人でやってきたので、ずっとシングルファーザーのようなものでした」と振り返る。

## 「正社員で働けばええやん」

厚生労働省の「全国ひとり親世帯等調査」によると、2016 年度、父子世帯数は約 19 万世帯。母子家庭の約 123 万世帯に比べると少ないが、離婚が増えるのに伴い、ひとり親世帯は増加傾向にある。また、平均年収(父親もしくは母親自身の収入)は、父子世帯が 420 万円、母子世帯が 243 万円。シングルファーザーはシングルマザーよりも正規雇用の割合が高い一方で、子どもとのコミュニケーション不足や周囲のコミュニティからの孤立とい

った問題に陥りがちだといわれる。

非正規雇用のタクヤさんが抱える問題は母子世帯のそれに近い。彼自身は、シングルマザーを含め、いわゆるママ友のコミュニティに入っていくことに抵抗はないという。「スーパーの安売り情報や節約料理の方法なんか、よく教えてもらっています」と屈託がない。

それよりも、職場の同僚男性らから「正社員で働けばええやん」と、暗に「男なんだから」とのニュアンスを含んだ言葉をかけられることに戸惑うという。新卒で育児休暇や短時間勤務制度が充実した企業に正社員として入ることができたならいざ知らず、「残業も断れないような会社で、仕事と子育てを両立することは難しいと思うのですが、なかなか理解してもらえません」。

仕事柄、妻の障害を冷静に理解し、「子どもたちとの生活自体は楽しい」というタクヤさんの話しぶりは、本人の穏やかな人柄もあり、あまり悲壮感を感じさせない。そんな彼が「死にたくなる」ほど打ちのめされたのは、子どもたちの高校卒業後の進路をめぐる選択だったという。

児童扶養手当や医療費助成などを利用すれば、貧しいながらも暮らしていくことはできる。しかし、メンタルの不調や病気などでいったんつまずくと即生活保護を受けざるをえず、進学にそなえた貯金もままなくなる。そうなると子どもは大学進学はあきらめるか、もしくは借金をして、なおかつバイト漬けの日々を送るしかない。長男と次男の現状がまさにそれだ。タクヤさんはこう訴える。

「福祉の仕事の給与水準が共働き前提で、夫婦のどちらかが働けなくなると食べていけなくなるほど低いことや、生活保護が唯一最後のセーフティネットであることが問題なんだと思います。貧しかったり、夫婦のどちらかに障害があったりする場合は子どもを産まなければ、問題は解決するのか。そんなことはないですよね」

#### 生活保護を抜け出し「精神的に自由になれた」

タクヤさんに会ったのは3月下旬。自宅近くの喫茶店で話を聞いていると、彼の知り合いの女性グループから声をかけられた。

「聞いたで一。〇〇君すごいな。おめでとう！」

この日は府立高校の合格発表の翌日。タクヤさんはママ友と思われる女性たちとしばらく世間話で盛り上がった後、「私立はあかんで」と伝えていた末っ子が府立高校に合格したことを教えてくれた。地域では最難関の学校だという。

合格発表の日は子どもと一緒に学校まで行った。冷たい雨が降る中、渡り廊下に張り出された紙を見上げ、息子が先に自分の番号を見つけ、「あった、あった、あった」と歓声を上げたという。帰りしなに2人で食べたラーメンは、久々の外食だった。

この頃、野菜の異常な高値もひと段落。その日の夜は、「野菜を食べたい」という子どもたちのリクエストにこたえ、キャベツを1玉使ってお好み焼きを作ったという。

また最近、念願だった生活保護を抜け出すこともできた。上の子どもが保護の対象から外れたため、食費が減るわけでもなく、かえって医療費は自己負担になるなど以前よりかかるようになり、暮らしが楽になった実感はない。ただ、これで貯蓄型保険に入ったり、自身の裁量で貯金したりできるようになるので「精神的に自由になれた」という。

今は父子3人暮らし。近所で1人暮らしをしている長男がよく戻ってくるので時々4人暮らし。支え合ってきた家族に、ゆっくりと春が訪れているのかもしれない。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

